



長野地本第9回定期大会を開催しました

12月11日、長野市の「JA 長野県ビル」において長野地本「第9回定期大会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大により招集開催が困難と判断して第8回定期大会を「臨時大会」として開催しました。「第9回定期大会」は3密を避けながら例年よりも参加者を少なくしての開催となりました。今一年間の運動の総括と、**メインスローガン「安全で働きやすい職場風土を構築し、社会から信頼される労働運動を推し進めよう！」**を柱とした向こう一年間の運動方針を参加者全員で確認しました。



地本臼井執行委員長からは、「コロナ禍における会社の効率化提案とのたたかい」「労働組合の会社へのチェック機能の必要性」「2020 春闘、夏季手当、年末手当について」「組合員の脱退について」「健康管理に気を付けていこう」などのあいさつがありました。



来賓の藤本中央執行委員長からは、「本部第9回定期大会について」「コロナ禍における労働運動づくりについて」「今年度のユニオン運動について」「年末手当について」「組織拡大について」「2021 春闘に向けて」「結成7年目のこれまでとこれからのたたかいにむけて」などのあいさつがありました。

質疑では「年末手当」「ジョブローテーションによる転勤や担務変更の問題点」「小海線無線制御式運行システムの問題点」「長野新幹線車両センターの仮復旧について」「新幹線職場で働く組合員の交流について」「長野駅輸送の超勤問題」「労働組合の勉強会の必要性」「ダイヤ改正」「組織強化に向けて」「事務の業務体制の見直しの問題点」など、様々な発言がありました。コロナ禍で大変な時ですが、感染拡大防止に留意しながらさらなる組織強化・拡大と職場諸問題の解決、安全で働きやすい職場づくりを全組合員で自信を持って推し進めていきましょう！



佐久支部 長崎代議員 総支部 川田代議員 長野支部 西村代議員 松本支部 柳子柴代議員 長野支部 藤森代議員 松本支部 内山代議員

<サブスローガン>

- JRグループで働くすべての労働者の「死亡事故・重大労災ゼロ」に向け、安全風土の確立と風通しの良い職場をつくりだそう！
- 労働条件の維持向上をめざし、誰もが働きやすい職場をつくりだそう！
- 労働運動を全ての職場から実践し、組織の拡大と強化に向けて全力で取り組もう！
- 2021 春季生活闘争をすべての労働者と共闘・連帯して、大きくつくりだそう！
- 平和憲法と民主主義を守るため、あらゆる戦争政策に反対しよう！

執行委員長	臼井 幸一
執行副委員長	丸山 和広
執行副委員長	滝沢 宏幸
執行副委員長	池田 守
書記長	小林 正樹
執行委員	青木 和隆
執行委員	小倉 勝巳
執行委員	三澤 明男
執行委員	駒込 宏彰
執行委員	滝沢 義亜
執行委員	丸山 敏史
執行委員	山本 貴也
執行委員	永井 努
会計監査員	原田 健二
会計監査員	間島 厚
会計監査員	笹岡 伸一郎